

親と子の主体性育成を目的とした企業主導型保育所における

子育て支援に関する実践研究

大阪芸術大学 初等芸術教育学科 特任教授 寺田恭子

【研究の目的】

本研究代表者は、子育て支援の目的は親と子の主体性発達にあり、親と子が幸福感＝心の充足感を得ること、親の主体性は子どもの主体性と相互に発達すること、その親の主体性は地域の親や支援者の主体性と相互に発達すること、を家族システム論の枠組を用いて実践し検証してきた（寺田、博士學位論文 2016）。

本研究は、令和4・5年度塚本学院教育研究補助費で作成した親と子の主体性育成を目的とし、「自己肯定感」「幸せ感＝心の充足感」をキーワードとした親の子どもへの関わり方プログラム「ゆりかごラーニング1～4」を活用して、西淀川区内のNPO法人A内の企業主導型保育所と通所児童デイサービスにおける保護者支援の実践とその成果を検証する。また、A法人内の保育者スタッフを対象とした「ゆりかごラーニング1～4」研修会をすることによって、他者との関係性や自己との関係性など法人内スタッフの子育て支援にどのような影響や変化が生じたのかを検証することも目的である。

【研究の方法】

1. 本研究は令和4・5年度に取り組んだ研究の検証として、「ゆりかご研究会」を中心として実践的に取り組んだ。「ゆりかご研究会」は、本研究代表者が10年以上監修してきたA法人の有志スタッフ7名によって構成されている。全員が看護師、保育士の専門職である。現在まで研究会での研究成果を保育現場に生かしてきた。

2. 2024年度前半の「ゆりかご研究会」において、保護者支援を目的とした「ゆりかごラーニング1～4」の90分×2回講座内容と90分×1回講座内容を作成した。また、保育者スタッフ対象とした90分バージョンの研修内容を作成した。

3. 2024年度後半において実践した内容は以下の通りである。講師はいずれも「ゆりかご研究会」メンバーである。

1) 保護者支援

90分 2回講座 ⇒ 9月10日・10月7日

90分 1回講座 ⇒ 2025年1月23日

2) 保育者スタッフ研修

90分講座 ⇒ 11月21日、12月14日、
12月21日

4. それぞれの受講後、「ゆりかごラーニング1～4」研究成果をアンケート調査で求めた。

1) アンケート内容

(1) 保護者支援

①「講座の充実感」ととても良かった、良かった、普通、良くなかった、わからない、の5件法で回答

②「最も印象に残ったところ」自由記述回答

③「わかりにくい内容」自由記述回答

④「家庭で取り入れたいこと」自由記述回答

(2) 保育者スタッフ研修

①「講座の満足度」ととても良かった、良かった、

普通、良くなかった、わからない、の5件法回答

②「講座の感想」自由記述回答

③「支援者として参考になった」自由記述回答

④「支援者としての要望」自由記述回答

2) 分析方法

5件法に関してはエクセル集計、「自由記述」については、User Local AI テキストマイニングを用いて集計した。

【研究の結果】

1. 保護者支援の保護者回答者は、30名であった。

①「講座の充実感」

「とても良かった」26(86.7%)、「良かった」4(13.3%)、「普通」0、「良くなかった」0、「わからない」0であった。

②「最も印象に残ったところ」単語出現頻度によると、「リズムあそび」(27.69)、「主体性」(25.21)、「リフレーミング」(17.29)「欲求・要求」(7.37)「自己肯定感」(7.32)であった。

③「わかりにくい内容」単語出現頻度によると、「過干渉」(6.29)、「過保護」(2.04)、「主体性」(1.96)

④「家庭で取り入れたいこと」単語出現頻度によると、「リフレーミング」(27.69)、「肯定的声かけ」(5.91)「主体性」(5.53) また、AI 文書要約によると、「子どもの気持ちに共感する」「肯定的語りかけを意識する」「バランスのとれた主体性意識する」など

2. 保育者スタッフ研修の回答者は、36名であった。

①「講座の満足度」「大変満足」21(58.3%)、「満足」(41.7%)、「普通」0、「不満」0、「大いに不満」0

②「講座の感想」AI 文書要約によると、主な内容として「頭で思っていることを研修で反復できる」「ゆりかごラーニングという教科書的なものがあると保護者との関係性を構築できる」「親はゆりかごラーニングを通して自分を知るきっかけになるのではない」「動画によって実際の場面を想像しやすい」など

③「わかりにくい内容」AI 文書要約によると、主な内容として「日常の困り事の具体的な対応をもっと知りたい」「リフレーミングはもっとワークとして取り入れ、練習する必要がある」など

④「支援者としての要望」AI 文書要約によると、「リズム体操をもう少し力を入れてもいいのではない」「年1回は開催して欲しい」「自己分析のところでもう少し話合いの場が欲しかった」など

【今後の研究課題】

令和4・5年度塚本学院教育研究補助費で作成した「ゆりかごラーニング1～4」の成果検証である本研究は、未だ分析考察の途中である。令和7年度入所児保護者を対象とした「ゆりかご講座」を皮切りに更に「ゆりかごラーニング1～4」を改良し、保育者スタッフ研修も充実させ、今後の子育て支援に活かしていきたいと考えている。